

あま市民病院だより

子宮癌検診と子宮脱について

令和3年4月1日に、あま市民病院婦人科に着任しました。外来診療で気になることは、進行した子宮頸癌や、子宮が膣から完全に脱出した子宮脱の患者様がしばしば受診されることです。この2つの疾患の特徴と対応方法のお話をいたします。

まず、子宮頸癌とは、子宮の入口である頸部の上皮が癌化した病気です。子宮頸部上皮が、ある種の原因によって一定の時間をかけて、異形から段階的に変化し、上皮内癌、浸潤癌へと発達していきます。したがって、定期的に婦人科検診を受けていただくと、子宮頸部の浸潤癌に発達する前に、子宮頸部異形で発見されます。その治療の侵襲は軽微であることが多いですが、浸潤癌になりますと、大きな手術や放射線および抗癌薬の治療が必要になり、場合によっては、命を落とすことにもなります。性交渉をする年齢になりましたら、ぜひ「婦人科検診(子宮頸部細胞診)」を受けられることを切にお願いいたします。

つぎに子宮脱とは、子宮を支える組織が様々な原因により弱くなって、子宮を定位置に維持できなくなり、膀胱や直腸を伴って下降していく疾患です。そのため、排尿や排便障害が出現してきます。初期症状としては、おしもの違和感、何かボールのようなものが出てくる、尿が漏れるなどですが、子宮がすべて膣から脱出すると、しばしば全く尿を出せなくなります。したがって、高度の子宮脱になる前に「違和感」程度の時に受診されることをお勧めします。適切な手術で対応すると、さわやかな生活が戻ってきます。気になる症状がありましたら、あま市民病院婦人科までご相談ください。

あま市民病院 婦人科 ふじもと じろう 藤本 次良



◇◆◇あま市民病院Facebookのご紹介◆◆◇

あま市民病院の活動やお知らせなどをFacebookでも発信しています。



<https://www.facebook.com/amahosp/>

公益社団法人
MED 地域医療振興協会

〒490-1111 あま市甚目寺畦田1番地
問合時間：午前8時30分～午後5時
(土・日曜、祝日を除く)
☎ 444-0050 FAX 444-0064
<https://www.amahosp.jp/>

